

国内外規格・認証制度研究会(第16回)議事録

日時: 2010年7月22日(木) 15:30~17:30

場所: 富士通総研・会議室(竹芝)

出席者(敬称略): 石川、大月、日下、黄野(JTTAS)、高橋、田代、福田、三島、折笠(記録)[合計9名]

【議題】

- (1)最新情報共有(石川様)
- (2)ディストラクション対象(リスク範囲の定義)についての提案(大月様)
- (3)BSI D-PAS200危機管理、PD25666演習訓練について(田代様)⇒未審議
- (4)ディストラクション事例の調査:地震に関する事例調査報告(有志)⇒未審議

【議事要約】

1. 最新情報共有

(1)人の動き

- ・日下様と福田様が本研究会に新規参加。
- ・黄野様は非会員となられたが、「協調関係を持つ協力者」として必要に応じてご参加頂く。

(2)BCAOの2010年度体制

- ・石川様は、専門家育成担当部門(担当:伊藤副理事長)の幹事として、資格試験・教育関係の検討をご担当される。

2. ディストラクション対象(リスク範囲の定義)についての提案

- ・大月様より、ディストラクション事例調査に先立ち、ディストラクション対象の明確化を図ることが必要とのご提案があり、メンバー合意の上、その方向となった。
 - ・ご提案の要旨は以下の通り。
 - ・全てのディストラクションやレジリエンスに共通する原理(または特性)を把握し、見出す。
 - ・その原理に従って、個別分野や対象への実務的応用にする。
 - ・ディストラクション特性は全分野共通のスキーム(文科省の科学技術・学術審議会の8事態などを考察のベースとする)に基づいて抽出する。
 - ・ディストラクション特性に関しての意見交換(一部を以下に示す。)。
 - ・企業のディストラクション対象とは企業活動の混乱・中断リスクである。
 - ・企業への影響には外的要因と内的要因があり、それぞれの視点から検討が必要。
 - ・価値を損傷させる、外的要因からくる不可抗力の特性ではないか。
 - ・企業活動の中断は機能中断のみではなく、価値中断として捉えることが必要。
- ⇒継続検討とし、ディストラクション特性について、メンバー間で、資料、メールでディスカスし、方向性を大月様と座長・副座長にて取りまとめ、次回研究会に提示する。

3. 次回開催予定

- ・2010年9月15日(水)15:00から富士通総研・会議室にて開催
- ・次回議題は本日未審議議題を含め、以下の予定
 - (1)ディストラクション特性の考え方の整理(大月様・座長・副座長取りまとめ)
 - (2)BSI D-PAS200危機管理、PD25666演習訓練について(田代様)
 - (3)ディストラクション事例の調査:地震に関する事例調査報告(有志)

以上